

2011年度(平成23年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2011年(平成23年) 5月31日
-------	--------------------

校番 64	福山市立内浦小学校
-------	-----------

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び、輝いて生きる子どもの育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

自分がすき、学校がすき、地域がすきな子どもを育てる

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

確かな学力をつける学校・笑顔と自信のあふれる学校・地域とともに輝く学校
~子どもも先生も自己肯定感をもち、学び合いができる学校~

<子ども>
学習の基礎が習得できている
いきいきと表現できる
自分のいいところと言える
地域がすきと言える

<先生>
学習規律の徹底
複式授業の研究
児童の活躍の場の設定
ライフスキルを活用した教育活動
学校よさの情報発信

自分の子・孫が住みやすい内浦を考えることができる(持続可能な開発ができる教育)

3 自校の現状分析

小規模校のよさを生かして、個に応じたきめ細かな指導ができる。今後、複式授業の研究を進め、確実に学力をつけていく必要がある。また、校区は前は海、周囲を山に囲まれた自然に恵まれており、地域住民や保護者の教育活動に対する支援は絶大なものがある。このことを生かし、他教科・領域と関連させた総合的な学習の充実を図る。こうした活動で育った子どもの姿を通して学校のよさをアピールし、広く知っていただく。

学力の向上
国語..CRT 学力検査において、4 / 5 学年が全国平均を上回った。しかし書く能力については3 / 5 学年が全国平均を下回ったので、書く力をつけていく必要がある。平均を下回った1 / 5 学年については関心・意欲は高いので、個に応じた学力補充を行う必要がある。

算数..CRT 学力検査において、4 / 5 学年が全国平均を上回った。関心・意欲がやや低い学年があるので、提示の仕方等を工夫する必要がある。1 / 5 学年については、個に応じた学力補充を行う必要がある。

自己肯定感の向上
児童・保護者アンケートで「自分や学校・地域のよさを発信している」では、共に100%に達成した。引き続き、自尊感情を維持するとともに、道徳学習等を通して自尊感情の価値レベルを見取り、自律したものにしていける必要がある。

4 研究主題

(1) 研究主題

極小規模校のよさを生かした教育活動のあり方
~自分に自信を持ち、いきいきと表現できる児童の育成~

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
「市」	教育研究支援事業 へき地教育	2011年度(平成23年度)~ 2013年度(平成25年度)

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
「ことばの教育」を軸に学力の基礎・基本を習得させる。 全教育活動の中でセルフエスティームの育成を図ることにより、地域に誇りを持ち、自分の考えをいきいきと表現できる児童の育成を図る。	「生きる力」としての思考力・判断力・表現力を身につけさせるために、本年度は基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけさせる必要があるため。 学校が小規模化する中で、自己肯定感を高め、いきいきと表現できる力は、「生きる力」の土台となると考えるため。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・ 自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	() 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況
確 かな 学 力	1	基礎的・基本的 な知識・技能を 確実に習得・活 用し,思考力・ 判断力・表現力 を高める。		見直し	「ことばの教育」を軸 に基礎的・基本的な知 識・技能を確実に習得 させる。		国語・算数の学期末テストで60%未満の児 童をゼロにする。			
							学習の約束(筆箱のなかみ・下じき・さし・ 学習準備・机の中)が90%以上守れた児 童を100%にする。			
							読書朝会の時間を利用して,児童一人一人の 「音読タイム」を週3回設け,個に応じた指 導を行う。			
							全校発表や地域の方との交流の場を設定し, 目標に達した話し方ができる児童を90%に する。 ・学期はじめ・終わり・プール目標・運動会 ・110番の家・出前授業・うしお祭 ・交流会 児童全員が月に1回,原稿を書いて朝の会で スピーチをする。			
豊 かな 心	1	自信をもって, ともに学び,地 域を大切にする 児童を育成す る。		見直し	「自分がすき,学校が すき,地域がすき」な 児童を育てる。		体験学習後カードに記入し,自分や学校・地 域の良さを文章や作品(習字・絵・俳句・写 真),劇などで発信できる児童を100%にす る。 児童・保護者・地域アンケートを年2回実施 し,「自分がすき」「学校がすき」「地域がすき」 を90%にする。 児童アンケートで「自分にはよいところがあ る」を90%にする。			
健 やか な 体	1	安定した生活リ ズムをつくり, 楽しんで運動す る児童を育成す る。		見直し	自らの生活リズムや体 力に関心をもち,意欲 的に生活リズムづくり や体力づくりに取り組 める児童を育てる。		自分で生活リズムの課題を見つけてふりかえ りカードに書き,自分の課題にあった適切な 改善策を立てられる児童を90%にする。			
							6月の新体力テストの結果をもとに,体力向 上に向けて自分の課題にあった適切な改善策 を自分自身で立てられる児童を90%にす る。			

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

力量ある教職員	1	確かな授業力を身につける。		新規	少人数のよさを生かした指導法を工夫する。		<p>へき地教育研究会の研修に各自1回以上は参加する。</p> <p>校内授業研究(児童の参観授業を含む)を各自、学期に1回以上実施する。</p> <p>保護者・地域アンケートを年2回実施し、「授業がよく分かる」の結果を90%にする。</p>		
市民から信頼される学校	1	開かれた学校づくりを推進する。		見直し	学校の取り組みと児童の変容を具体的・積極的に発信する。		<p>学校の取り組みを学期に1回ずつ学校懇談会で説明する。</p> <p>ホームページを毎月更新する。</p> <p>学校紹介DVDを作成する。</p> <p>学校だよりを地域に全戸回覧する。</p> <p>6月地域参観日、うしお祭、学校へ行こう週間を地域公開とする。</p> <p>保護者・地域アンケートを年2回実施し、「情報発信に努めている」「地域とのつながりを深めている」の結果を90%にする。</p> <p>学期に1回小中連携の話し合いをする。</p>		